

コード	50102
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	幼児教育の充実
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	学校教育の充実

課コード	124	関係課名
主管課名	学校教育課	

基本事業の目的

幼稚園長や主任等の研修会を積極的に開催し、職員の資質の向上を図ると共に、幼・保・小連携事業などを推進することで幼稚園教育の充実発展を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	主任研修会等参加者	成果指標名称 2	幼稚園公開保育研修会					
成果指標の積算根拠	研修会参加者数÷対象者数	成果指標の積算根拠	研修会計画回数÷実施回数					
目標達成年度	平成24年度	目標達成年度	平成24年度					
目標達成数値	15人	目標達成数値	2回					
年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
成果指標 1	目標 A	単 位	人	40	40	32	18	15
	実績 B		人	40	40	32	18	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単 位	回	2	2	2	2	2
	実績 B		回	2	2	2	2	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	幼児教育の充実・発展のため、幼稚園主任等の研修会を実施している。また、幼・保・小学校連携（交流活動）事業を通して幼稚園や保育所から小学校への幼児の円滑な進学がなされている。
	課題	園児数及び園数が減少していく中、各幼稚園の特色を鮮明にし、研修会を通して充実した幼児教育を推進していく必要がある。また、今後の国及び県の幼児教育方針の動向を見ながら、関係各課と連携を図り、幼稚園と保育所の一元化に向けた取組を検討する必要がある。
	改善	幼稚園と保育所の一元化が進む中、新たな研修会を設け、幼稚園教諭及び保育士が連携しながら幼児教育の充実を図っていかねばならない。
2次評価		子どもたちが減少していく中で、幼小連携、幼保連携と幼児教育環境が変化している。どのようなあり方が子どもたちの教育に最善となるか十分な検証・検討を重ね、関係機関と一体となって充実した幼児教育を推進すること。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	501020106	通園費補助事業	学校教育課	521千円	(途中) このまま事業を継続
2	501020201	幼稚園耐震化・大規模改造事業	学校教育課	1,397千円	(途中) このまま事業を継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				1,918千円	